

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 アテクト

コード番号 4241 URL <http://www.atect.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小高 得央

問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務グループリーダー

(氏名) 鈴木 基起

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

TEL 072-967-7000

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	1,684	△20.6	30	△70.4	13	△83.6	△49	—
21年3月期第2四半期	2,120	—	103	—	84	—	5	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△14.77	—
21年3月期第2四半期	1.73	1.72

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	4,211	1,606	38.0	479.66
21年3月期	4,398	1,665	37.8	498.69

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 1,599百万円 21年3月期 1,662百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	10.00	10.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	0.00	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,979	11.6	252	—	223	—	122	—	36.85

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
〔注〕詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
〔注〕詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無
〔注〕詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第2四半期 | 3,506,000株 | 21年3月期 | 3,506,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第2四半期 | 172,097株 | 21年3月期 | 172,097株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第2四半期 | 3,333,903株 | 21年3月期第2四半期 | 3,333,936株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
業績予想の前提となる条件等については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の個別業績 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	1,546	△14.7	136	△22.5	120	△28.3	58	△31.4
21年3月期第2四半期	1,814	—	175	—	168	—	85	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年3月期第2四半期	17	58	17	57
21年3月期第2四半期	25	61	25	39

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	銭	百万円	銭	%	円	銭	
22年3月期第2四半期	4,673		2,158		46.0	644	99	
21年3月期	4,744		2,127		44.8	637	34	

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 2,150百万円 21年3月期 2,124百万円

2. 平成22年3月期の個別業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	3,241	7.5	250	84.8	227	90.9	127	—	38	23

(注) 個別業績については参考として記載しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 当社および子会社の構成

- ① ㈱アテクト…当社
- ② ㈱アテクト코리아…半導体資材製造、韓国
- ③ トライアル㈱…ポリマー微粒子製造、平成20年1月子会社化
- ④ ㈱ダイプラ…プラスチック造形、成形、平成20年4月子会社化

(2) 売上高等

当社グループの当第2四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日、以下同じ）の業績は、半導体資材事業での受注高の回復や、堅調に推移した衛生検査器材事業の貢献により、ほぼ安定した状況で推移しましたが、新規事業であるプラスチック造形事業とポリマー微粒子事業につきましては、当第2四半期末までに各々の事業の顧客となる液晶関連業界の新規設備投資の遅れや、自動車業界の不振による受注の減少により、売上高は前年同期比79.4%の1,684百万円となりました。

利益面につきましては、半導体資材事業および衛生検査器材事業において効率生産を行ったことにより、製造原価の低減を実現し、当該事業の利益率を向上させることが出来ました。しかしながら、新規事業での業績がグループ全体の利益を押し下げた結果、営業利益は前年同期比29.6%の30百万円、経常利益は前年同期比16.4%の13百万円、四半期純利益は△49百万円（前年同期5百万円）となりました。

事業別セグメントの状況を示すと以下のとおりとなります。

① 半導体資材事業

当事業の売上高は860百万円となりました。当第1四半期5月頃からの中国TV市場の活況を背景としたフラットパネルディスプレイ市場の回復により売上高が当初計画値を上回り、当第2四半期においても高水準で推移いたしました。子会社の株式会社アテクト코리아では受注増に対応すべく増産対応を行い、顧客への安定供給を図りました。また、本庄工場の本社工場への集約を完了させたことにより生産効率が高まり、賃借料等の経費の圧縮に繋がっております。

その結果、当事業の営業利益は52百万円となりました。

② 衛生検査器材事業

当事業の売上高は689百万円となりました。販売面では、当第1四半期に総顧客数が10,000事業所を超えましたが、当第2四半期においては、主力顧客である食品関連だけでなく、製薬業界等の顧客層の獲得にも注力した営業展開を行ってまいりました。また、コスト面においては、前期からの材料費低減の設備投資も利益確保に大きく貢献しました。さらに、製造過程における無菌製造ラインを構築し、シャーレ製造方法の革新的構築に取り組んだ結果、滅菌コストの大幅低減を図ることが出来ました。

その結果、当事業の営業利益は90百万円となりました。

③ プラスチック造形事業

当事業の売上高は108百万円となりました。主力事業である成形受託業務において、大手液晶パネルメーカーの大阪府下での設備投資の延期が続いており、売上高増加には繋がりませんでした。

その結果、当事業の営業利益は△57百万円となりました。

④ ポリマー微粒子事業

当事業の売上高は25百万円となりました。当第2四半期においては、当第1四半期に引き続き造形メーカーへの販路拡大に努めましたが、自動車業界における研究開発費の支出抑制等の引き締めが強く、売上高が伸びず、苦戦するところとなりました。

しかしながら、このような状況下でも新素材の開発に注力し、固体潤滑剤メーカーへの微粒子供給や、半導体関連素材メーカーとの製品開発を推進しております。

その結果、当事業の営業利益は△54百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ4.2%減の4,211百万円となりました。

総資産の主な増加要因は、「受取手形及び売掛金」が119百万円増加したこと等によるものであり、主な減少要因は、流動資産において「現金及び預金」が192百万円、「未収還付法人税等」が48百万円、「原材料及び貯蔵品」が42百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ4.7%減の2,604百万円となりました。

負債の主な増加要因は、「支払手形及び買掛金」が72百万円増加、「リース債務」が132百万円増加したこと等によるものであり、主な減少要因は、「1年内返済予定の長期借入金」が78百万円減少、「長期借入金」が255百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ3.5%減の1,606百万円となりました。

純資産の主な減少要因は、「利益剰余金」が82百万円減少したこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年4月30日発表の通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	620,753	813,487
受取手形及び売掛金	641,553	521,832
商品及び製品	191,502	219,345
仕掛品	23,560	31,188
原材料及び貯蔵品	188,989	231,179
繰延税金資産	15,066	43,966
未収還付法人税等	—	48,902
その他	53,337	23,080
貸倒引当金	△1,900	△1,514
流動資産合計	1,732,863	1,931,467
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	686,423	683,969
機械装置及び運搬具（純額）	450,453	353,938
土地	918,094	918,094
建設仮勘定	130,631	162,584
その他	29,863	35,417
有形固定資産合計	2,215,467	2,154,003
無形固定資産		
のれん	143,850	164,229
その他	27,426	31,302
無形固定資産合計	171,276	195,531
投資その他の資産		
投資有価証券	1,994	1,630
繰延税金資産	10,457	11,955
その他	81,383	111,278
貸倒引当金	△1,804	△7,684
投資その他の資産合計	92,030	117,180
固定資産合計	2,478,774	2,466,716
資産合計	4,211,637	4,398,183

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	401,553	328,688
短期借入金	700,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	582,278	661,260
未払金	59,363	76,748
未払法人税等	26,315	—
賞与引当金	27,454	31,486
設備関係支払手形	52,448	32,397
その他	95,649	91,299
流動負債合計	1,945,062	1,921,879
固定負債		
長期借入金	487,714	743,204
リース債務	161,201	55,862
その他	10,761	11,621
固定負債合計	659,676	810,687
負債合計	2,604,739	2,732,566
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,645	729,645
資本剰余金	649,645	649,645
利益剰余金	425,421	508,005
自己株式	△99,406	△99,406
株主資本合計	1,705,304	1,787,888
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	396	180
為替換算調整勘定	△106,567	△125,471
評価・換算差額等合計	△106,171	△125,291
新株予約権	7,765	3,020
純資産合計	1,606,897	1,665,616
負債純資産合計	4,211,637	4,398,183

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,120,980	1,684,047
売上原価	1,487,754	1,149,539
売上総利益	633,225	534,507
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	122,479	140,889
賞与引当金繰入額	14,175	16,866
貸倒引当金繰入額	7,825	308
その他	384,967	345,698
販売費及び一般管理費合計	529,448	503,762
営業利益	103,777	30,745
営業外収益		
受取利息	577	111
受取配当金	28	24
保険解約返戻金	8,264	—
法人税等還付加算金	—	1,602
その他	3,316	2,229
営業外収益合計	12,186	3,967
営業外費用		
支払利息	13,794	16,049
為替差損	15,126	3,674
その他	2,291	1,093
営業外費用合計	31,212	20,816
経常利益	84,752	13,895
特別利益		
過年度退職給付費用戻入益	9,936	—
固定資産売却益	—	209
特別利益合計	9,936	209
特別損失		
たな卸資産評価損	28,081	—
固定資産除却損	2,082	10,631
固定資産売却損	499	156
特別損失合計	30,663	10,787
税金等調整前四半期純利益	64,024	3,317
法人税、住民税及び事業税	44,995	22,311
法人税等調整額	13,258	30,250
法人税等合計	58,253	52,561
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,770	△49,244

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	半導体資材 事業 (千円)	衛生検査器 材事業 (千円)	プラスチッ ク造形事業 (千円)	ポリマー微 粒子事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,075,105	707,168	312,636	26,070	2,120,980	—	2,120,980
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	183	—	536	—	719	(719)	—
計	1,075,289	707,168	313,172	26,070	2,121,700	(719)	2,120,980
営業利益又は営業損失(△)	98,848	49,774	△6,719	△38,125	103,777	—	103,777

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっています。

2. 第1四半期連結累計期間より、新たにプラスチック造形事業を追加しておりますが、これは連結子会社の増加に伴う新規事業の開始によるものであります。

3. 各区分の主な製品

(1) 半導体資材事業・・・スペーサーテープ(液晶テレビ、プラズマテレビ等の駆動用LSI等の保護資材)の製造・販売

(2) 衛生検査器材事業・・・シャーレ、培地・試薬等、食品企業、医薬品企業の衛生検査用品の製造・販売及び仕入・販売

(3) プラスチック造形事業・・・精密射出成形、インサート成形の加工・販売

(4) ポリマー微粒子事業・・・粉末積層造形材料、化粧品、フィルタ材料等の製造・販売

4. 事業区分の名称の変更

従来、「ポリマー微粒子事業」は「その他の事業」に含めて表示しておりましたが、当該事業の営業損失が全セグメントの営業損失の合計額の10%以上であるため、第1四半期連結累計期間から「ポリマー微粒子事業」として表示しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	半導体資材 事業 (千円)	衛生検査器 材事業 (千円)	プラスチッ ク造形事業 (千円)	ポリマー微 粒子事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	860,672	689,479	108,025	25,870	1,684,047	—	1,684,047
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	477	787	1,265	(1,265)	—
計	860,672	689,479	108,503	26,657	1,685,312	(1,265)	1,684,047
営業利益又は営業損失(△)	52,094	90,606	△57,410	△54,546	30,745	—	30,745

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっています。

2. 各区分の主な製品

- (1) 半導体資材事業・・・スペーサーテープ(液晶テレビ、プラズマテレビ等の駆動用LSI等の保護資材)の製造・販売
- (2) 衛生検査器材事業・・・シャーレ、培地・試薬等、食品企業、医薬品企業の衛生検査用品の製造・販売及び仕入・販売
- (3) プラスチック造形事業・・・精密射出成形、インサート成形の加工・販売
- (4) ポリマー微粒子事業・・・粉末積層造形材料、化粧品、フィルタ材料、金属又はセラミックス粉末射出成形(PIM)用材料等の製造・販売

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。

「参考」

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。